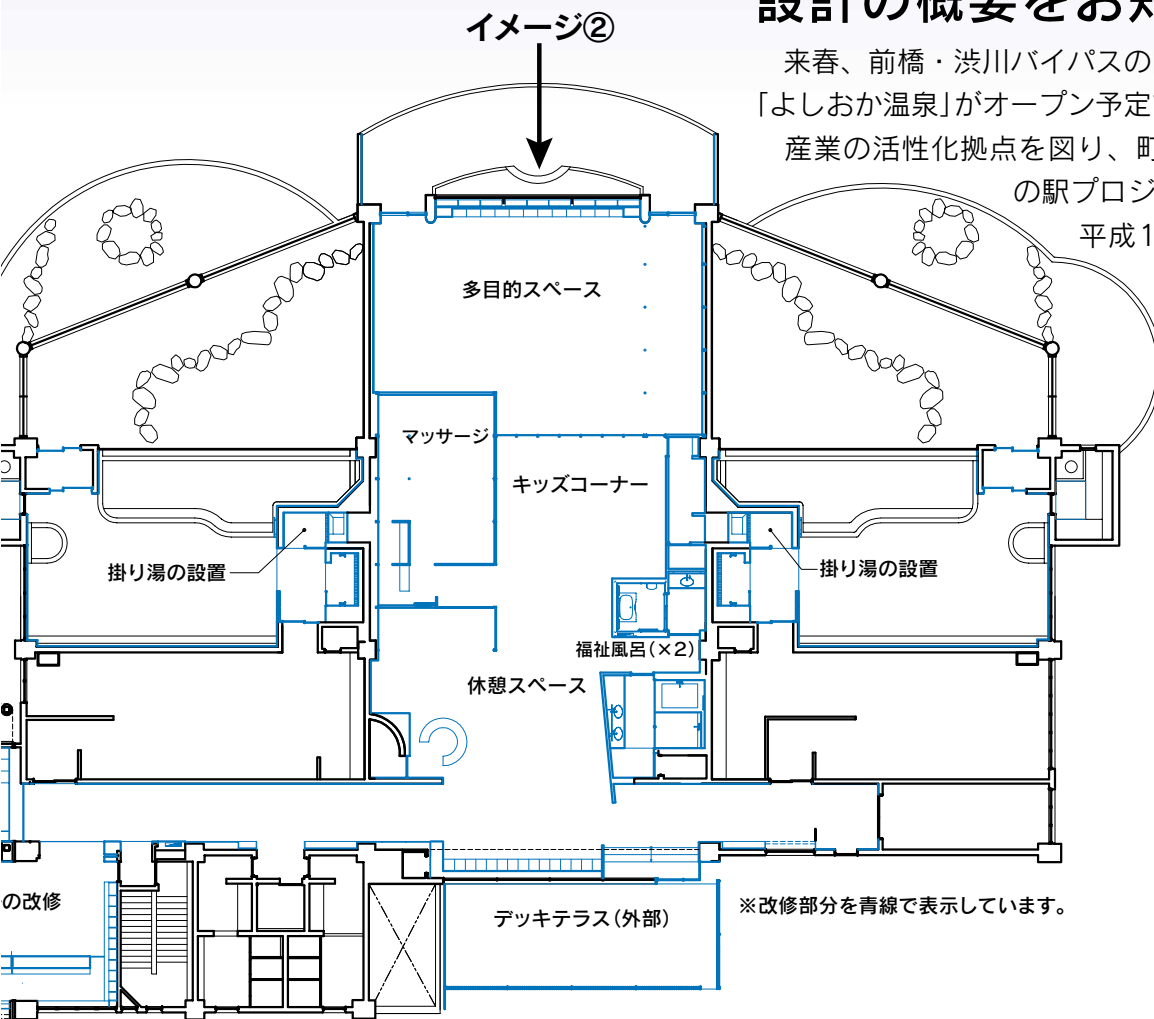


リバートピア吉岡 増改築決定！

設計の概要をお知らせします

来春、前橋・渋川バイパスの開通にあわせて道の駅「よしおか温泉」がオープン予定です。

産業の活性化拠点を図り、町の情報発信となる「道の駅プロジェクト」の一環として、平成10年に竣工した温泉施設「よしおか温泉リバートピア吉岡」の増改築を行います。



※改修部分を青線で表示しています。

平成18年の燃料高騰により閉鎖していたプール跡地およびレストランの増改築などを計画し、基本設計および実施設計を株式会社プランツアソシエイツに委託し、基本計画および実施設計ができました。

●改修にいたる経過について

燃料高騰により、温水プールを加熱する灯油の費用がかさみ、(株)吉岡振興公社の経営にも支障がでることから、温泉施設の管理などに係る調査研究懇談会の答申などにより、プール並びに個人通年券を廃止としました。

平成19年度の懇談会で個人通年券・プールの再開について検討を行い個人通年券は再開し、プールについては、灯油に替わる代替燃料の検討などを行いました。プール設備の改修および維持管理費などを考慮し再開断念となりました。

プール跡地の利用については、健康的な施設(ジム、ヨガ、ジャズダンスなど)として採算性も考慮します。

道の駅のオープンにあわせてプールの跡地の改修、レストランの増築、築10年が経過することから、建物のリニューアルを行い、道の駅「よしおか温泉」との相乗効果による集客増を見込むなどの答申となりました。

●基本計画

よしおか温泉リバートピア吉岡は、浴室や露天風呂から

なる温泉ゾーンと、レストラン・大広間からなる食事ゾーンからなり、それらをつなぐかたちでエントランス・ロビーが設けられています。

新しい道の駅完成による利用者増に対応するため、レストランの増築を行い、現在利用されていないプール跡地を改修し、新しい機能を追加します。

以上が基本計画の中心となる内容です。

リバートピア吉岡の増改築は、次の点に主眼を置き計画を進めています。

○既存建物を効率的・有効に活用しながら、最小限の工事で最大限の効果を生むように計画する。

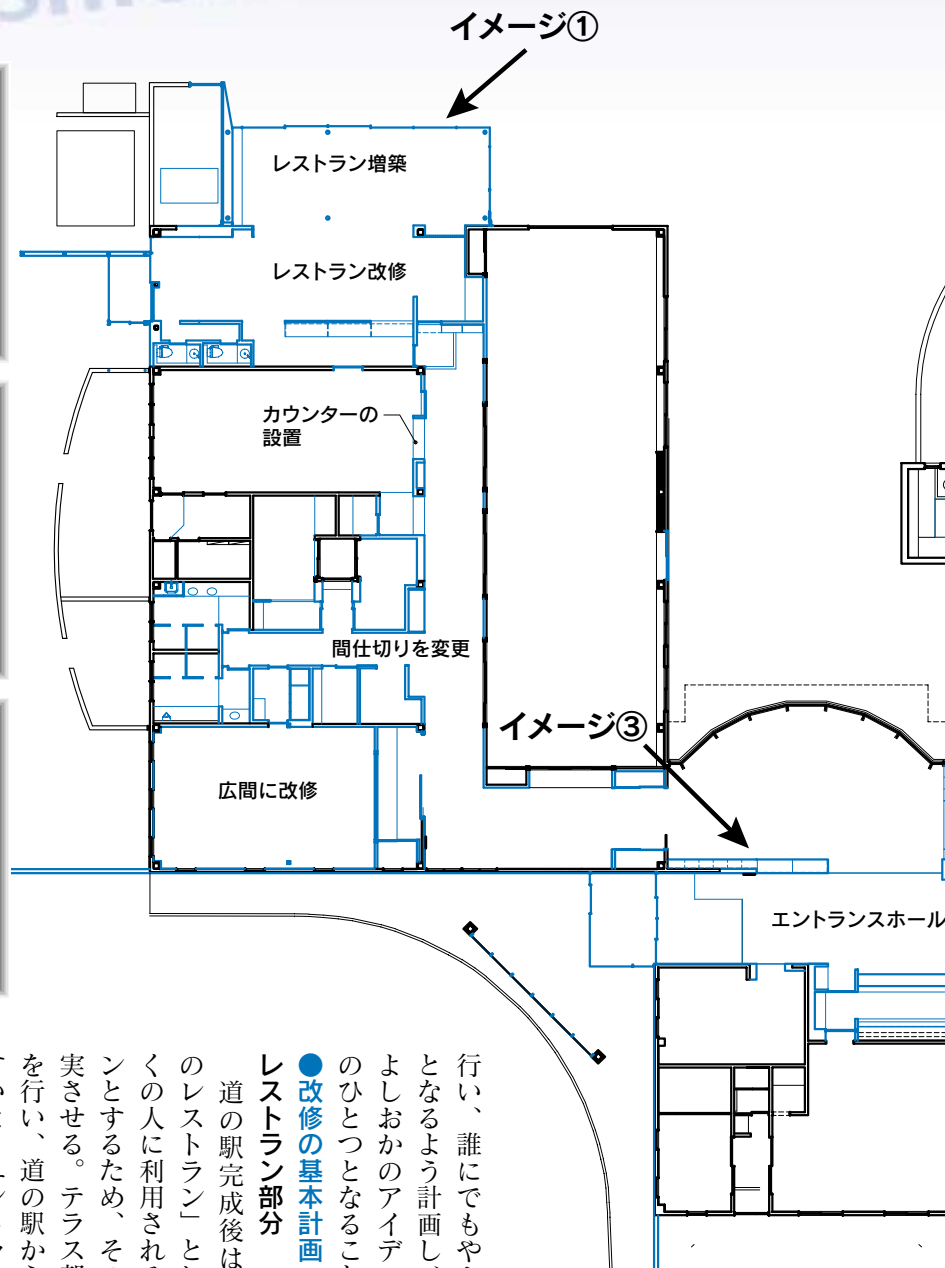
○現在単独で利用されている温泉施設を、道の駅というひとつのプログラムの一部として捉え直し、その使われ方を再構築する。そうすることで、完成後には施設間での連携のとれた運営を期待できる。

○道の駅のイメージを連続させ、視覚的に統一された大きな道の駅として感じられるように計画する。

○福祉やバリアフリーの考え方に基づいたリニューアルを

Road Side Station Yoshioka Hot Spring

完成イメージ



行い、誰にでもやさしい施設となるよう計画し、福祉の町よしおかのアイデンティティのひとつとなることを期待。

●改修の基本計画 レストラン部分

道の駅完成後は、「道の駅のレストラン」としてより多くの人々に利用されるレストランとするため、その機能を充実させる。テラス部分に増築を行い、道の駅から利用しやすいようエントランスを改修する。内部は既存の壁・天井を下地として利用しながら、吉岡産の木を用いたインテリアとしてイメージの一新を図る。レストラン専用のトイレを設置し、広間からの独立性を確保する。

中広間部分

現在のマッサージ室を広間として改修する。大人数での宴会や会合への貸出しに対応できるようにする。

プール跡地部分

既存の大きな空間を生かし、新しい機能を壁で仕切るのではなく、閉じる部分のみを箱状に配置してゾーン分けをする。

多目的スペース（フィットネス、ヨガ、ダンス教室などに利用）、リラクゼーションスペース（マッサージなど）、福祉風呂スペース、キッズスペース、休憩スペースなどに改修。

浴室部分

掛り湯新設、内湯と露天風呂の仕切りガラスの取替、露天風呂の底新設などの改修。

●工事に伴う休館について

工事は9月上旬から平成22年3月15日までの期間で行う予定です。多くの皆さまにご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

▼休館期間 10月15日（木）～12月19日（土）（約2ヵ月間）

●温泉スタンドの廃止

多くの皆さまにご利用いただきましたが、道の駅に足湯を設置することから、10月14日（水）をもって廃止とします。

▼問合せ先

役場財務課財政室
54・3111（内線131）